

9. がん対策

がんは、昭和56年に脳血管疾患を抜き、日本人の死亡原因の第1位になった。豊島区においても、がんが昭和52年から死亡原因の第1位となっており、約3人に1人ががんにより死亡している。

豊島区ではこのような現状から、がん対策を区政の最重要課題と位置付け、がん予防の知識・意識の普及啓発、がん検診の推進、がん患者及び家族への支援など、総合的な取り組みを行っている。

[1] がん対策の推進

(1) 会議体の設置

① 豊島区がん対策推進本部（庁内組織）

区の最重要課題であるがん対策を効果的、効率的に推進するため、庁内の部局を横断した連携、総合的ながん対策の実施を目的として、平成22年1月設置。（平成24年度より休止）

② 豊島区がん対策推進会議（学識経験者等）

区においてがん対策を推進するにあたり、区の現状の検証、がん対策に関する条例の制定及びがん対策に関する計画の策定、がんに関する施策等について、専門的な見地から検討するため平成22年度に設置した。（平成23年度より休止）

(2) 条例・計画

① 豊島区がん対策推進条例及び豊島区がん対策基金条例【平成22年12月13日制定】

がんが区民の生命及び健康にとって重大な脅威となっている現状にかんがみ、がんの予防及び早期発見、また正しい知識の普及啓発並びにがん患者等の負担軽減を図ることにより、がん対策の総合的かつ計画的な推進に資することを定めた条例を制定。

併せて、豊島区がん対策基金条例を制定し、「豊島区がん対策基金」を設置し、がんに関する正しい知識・意識の普及啓発事業、がん検診などの予防事業に活用していく。

② 豊島区がん対策推進計画【平成23年3月策定】

豊島区がん対策推進条例制定に基づき、その具体的な施策の実施計画として策定した。計画期間は平成23年度から平成27年度までの5か年とする。

(3) がん対策基金

豊島区がん対策推進条例に基づき、区民ががんに関する正しい知識、意識を持つことやがん検診受診率向上のための普及啓発を行うとともに、がん対策基金を創設し、普及啓発に活用する。

□基金実績額

年 度	実績金額（円）
23年度	3,163,322
24年度	3,198,652

(4) がん対策普及啓発

がん検診の受診勧奨ならびにがんに関する普及啓発事業を実施している。

① がん検診受診勧奨通知の送付

[平成24年度]

国保特定健診	がん検診申込書付き案内 (約50,000人)
長寿健診 (後期高齢者)	がん検診申込書付き案内 (約25,000人)
福祉健診	がん検診申込書付き案内 (約5,000人)
がん検診のリーフレット	リーフレットの配置 (各医療機関、区施設など)
がん検診無料クーポン (国) 子宮頸がん (20、25、30、35、40歳の区民 (女性)) 乳がん (40、45、50、55、60歳の区民 (女性)) 大腸がん (40、45、50、55、60歳の区民)	対象者全員に郵送 子宮頸がん (約11,000人) 乳がん (約8,100人) 大腸がん (約17,000人)
がんの検診チケット (区独自) 子宮頸がん (20歳以上の区民 (女性)) 乳がん (40歳以上の区民 (女性)) 大腸がん (40歳以上の区民)	対象者全員に郵送 子宮頸がん (約55,000人) 乳がん (約35,000人) 大腸がん (約126,000人)

② 乳がんグローブの配布

乳がんに関する知識の普及、自己触診方法の周知のため、乳がんグローブの使用法説明ならびに配布を実施。

③ がん検診受診勧奨イベントの実施

年度	回数	内 容		参加者
20年度	1回	・映画「Mayu～ココロの星～」		450名
21年度	1回	・スター混声合唱団&山田邦子さんトークショー		4,504名
22年度	4回	・お笑い芸人によるトーク・映画「余命」 ・がん検診の啓発、乳がん自己触診体験 (ふくし健康まつり)		4,197名
23年度	2回	・お笑い&健康イベント ・がん予防クイズ (ふくし健康まつり)		3,500名
年度	開催日	場 所	内 容	参加者
24年度	9月1日	豊島公会堂	・綾戸智恵元気が出るトーク&ライブ	731名
	11月3日	サンシャイン60噴水ひろば	・笑って踊ってがん予防 ・がん啓発ブース	2,833名
	12月9日	池袋保健所	・がん予防クイズ、がん検診啓発 (ふくし健康まつり)	292名

④ がん対策普及啓発イベントの実施

□がん対策区民大会・がん対策推進・特別公演開催実績

年度	日 時	場 所	内 容	参加者
22年度	3月5日	帝京平成大学 沖永記念ホール	がん対策推進宣言 鳥越俊太郎氏による特別講演	755名
23年度	6月18日	帝京平成大学 沖永記念ホール	第1部 講演会「がん予防について」 第2部 小椋佳「歌紡ぎの会」	918名
24年度	12月23日	豊島公会堂	第1部 講演会「がん教育について」 第2部 荘村清志&山形由美ジョイント・コンサート	781名

[2] がん検診

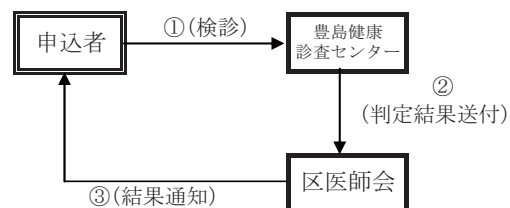
(1) 胃がん検診

胃がんは、我が国のがんの中で多く発生しているため、胃がん検診を実施することにより、早期に発見し医療に結びつけることは、がん予防対策上重要な課題である。

区医師会に委託し、年間を通して実施している。

〔開始年度〕昭和44年度〔対象〕30歳以上の区民

なお、平成4年度から、経過観察者及び70歳以上の希望者に対しては、直接「二次検診」を実施していたが、平成22年度からは、受診者全員の直接撮影（デジタル）の検診1回としている。



□ 一次検査（X線間接撮影）受診状況（～21年度）

（単位：人）

区分 年度	受診者数	検診結果		追跡 対象者数	がん 発見者数
		異常なし	要精密		
20年度	2,474	2,110	364	19	2
21年度	3,394	2,816	578	36	3

□ 二次検査による検診結果（X線直接撮影）（～21年度）

（単位：人）

区分 年度	受診者数	検診結果						主な検査所見(延人員)							
		1次検診要精密で検査をした者	直接観察	2次検診要経過	70歳以上	異常なし	要精密検査(含む要面接指導)	その他の疾病	胃(疑い含む)	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	胃炎	胃下垂	潰瘍癒痕	胃十二指腸
20年度	914	329	7	578	305	152	457	30	10	3	348	0	107	198	118
21年度	1,634	448	7	1,179	774	302	558	44	16	3	365	9	211	238	227

□ 検診結果（デジタルX線直接撮影）（22年度～）

（単位：人）

区分 年度	受診者数	主な検査所見(延人員)									要精密検査者	追跡対象者数	がん発見者数
		異常なし	胃(疑い含む)	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	胃炎	胃下垂	潰瘍癒痕	胃十二指腸	胃ポリープ			
22年度	7,329	4,910	78	27	3	1,130	54	444	686	706	519	268	4
23年度	5,785	3,602	77	11	2	1,021	63	294	376	477	412	222	5
24年度	5,632	3,424	60	26	1	1,001	59	365	439	677	427	-	-
30～39歳	439	367	1	2	0	24	1	12	34	4	15	-	-
40～49歳	1,131	816	4	3	1	127	9	60	110	42	54	-	-
50～59歳	951	619	7	4	0	130	13	73	93	54	67	-	-
60～69歳	1,725	966	24	6	0	364	24	130	118	243	149	-	-
70歳以上	1,386	656	24	11	0	356	12	90	84	334	142	-	-

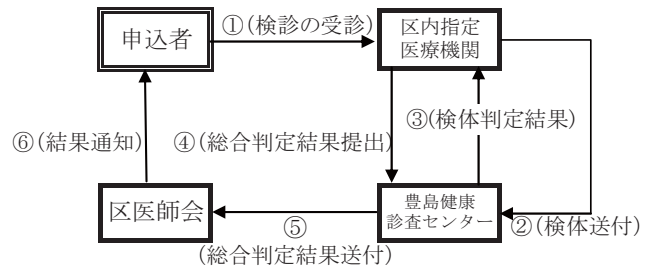
（注）追跡対象者数・がん発見者数は、翌年度下半期に数値が確定するため、平成24年度は掲載されていない。

(2) 子宮頸がん検診

子宮がんは、早期治療によりほとんど治癒することから、早期発見が重要である。20歳以上の女性を対象に、区医師会に委託し区内の医療機関にて実施している。昭和63年度から平成15年度までは子宮頸がん受診者のうち一定の条件に該当する者には、子宮体がんの検診も実施した。

平成17年度からは、厚生労働省の指針を受け、実施年度中に偶数年齢を迎える者を対象に行なっている。

また、平成21年度から無料クーポン券を国の指定する年齢の者に送付した。平成23年度から細胞診の評価方式を日母分類からベセスダ方式に変更。検診実施期間を延長し、検診対象者に「検診チケット」を送付した（無料クーポン対象者へはクーポン券を送付）。



〔開始年度〕 昭和47年度

〔対象〕 区対象：区検診チケット（年度末現在、20歳以上で偶数年齢の女性）

国対象：無料クーポン（4月1日現在、20、25、30、35、40歳の女性）

〔実施時期〕 5～1月

□ 受診状況（日母分類）（～平成22年度）

（単位：人）

区分 年度	受診者数	総合判定			細胞診・クラス分類					追跡 対象 者数	がん 発見 者数			
		異常なし	経過 観察	要精密 検査	I	II	III	IV	V					
20年度	3,792	3,297	475	20	632	3,019	138	1	2	20	1			
21年度	6,582	5,999	3,982	551	348	32	15	624	5,769	186	2	1	32	2
	2,237		2,017	203	17									
22年度	8,063	7,354	4,860	560	343	149	92	743	7,121	195	4	0	149	1
	2,768		2,494	217	57									

（注1）経過観察者の中には、その他の疾患による者も含む。

（注2）日母分類のクラス分類Ⅲは、Ⅲa、Ⅲ、Ⅲbと判定された者。

（注3）21年度以降の受診者数は（左段）合計受診者数、（右段・上）区検診・（右段・下）無料クーポン検診受診者数。

（注4）21年度は同一年度、重複受診者が2名いるが、受診者数から差し引いてある。

□ 受診状況 (ベセスダ方式) (平成23年度～)

(単位：人)

区分 年度	受診者数		受診結果						追跡 対象 者数	がん 発見 者数
			異常なし		要精密検査		標本不適正			
23年度	11,728	9,483 2,245	11,164	9,052 2,112	563	430 133	1	1 0	563	9
24年度	11,371	9,273 2,098	10,951	8,947 2,004	418	324 94	2	2 0	-	-
20～29歳	1,680	1,079 601	1,595	1,021 574	84	57 27	1	1 0	-	-
30～39歳	3,398	2,328 1,070	3,253	2,232 1,021	145	96 49	0	0 0	-	-
40～49歳	2,921	2,494 427	2,798	2,389 409	122	104 18	1	1 0	-	-
50～59歳	1,558	1,558	1,512	1,512	46	46	0	0	-	-
60～69歳	1,092	1,092	1,076	1,076	16	16	0	0	-	-
70歳以上	722	722	717	717	5	5	0	0	-	-

(注) 受診者数は(左段)合計受診者数、(右段・上)区検診・(右段・下)無料クーポン検診受診者数。

□ 検診結果 (ベセスダ方式) (平成23年度～)

(単位：人)

区分 年度	細胞診による検査結果													
	NILM		ASC-US		ASC-H		L-SIL		H-SIL		SCC		腺系病変	
23年度	11,161	9,049 2,112	301	240 61	26	23 3	151	112 39	67	41 26	4	4 0	17	13 4
24年度	10,951	8,947 2,004	222	173 49	8	5 3	128	97 31	38	31 7	0	0 0	22	18 4
20～29歳	1,595	1,021 574	45	32 13	1	1 0	35	22 13	3	2 1	0	0 0	0	0 0
30～39歳	3,253	2,232 1,021	71	47 24	4	1 3	43	30 13	19	14 5	0	0 0	8	4 4
40～49歳	2,798	2,389 409	65	53 12	1	1 0	31	26 5	13	12 1	0	0 0	12	12 0
50～59歳	1,512	1,512	25	25	0	0	17	17	3	3	0	0	1	1
60～69歳	1,076	1,076	12	12	1	1	2	2	0	0	0	0	1	1
70歳以上	717	717	4	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0

(注) 23年度から、子宮頸部細胞診の検査分類が、日母分類からベセスダシステム分類に変更した。

参考表 ベセスダ方式と日母分類

細胞診判定	ベセスダ分類		推定病変等	旧日母分類	
	陰性	NILM		炎症・その他の非腫瘍性所見	I・II
扁平 上皮系 病変	ASC-US		軽度扁平上皮内病変疑い	II・IIIa	
	ASC-H		高度扁平上皮内病変疑い	IIIa・IIIb	
	L-SIL	HPV（ヒトパピローマウイルス）感染		軽度異形成	IIIa
		中等度異形成			
		高度異形成			
	H-SIL	上皮内がん		IV	
		扁平上皮がん		V	
腺系病変	AGC（腺異型または腺がん疑い）		III		
	AIS（上皮内腺がん）		IV		
	adenocarcinoma（腺がん）		V		
	other malignancy（その他の悪性腫瘍）				
判定不能		再掲・不適正の場合、再検査			

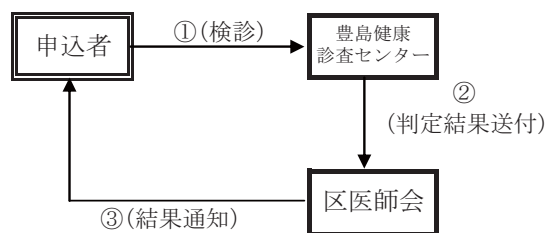
(3) 肺がん検診

大気汚染、喫煙等の害により増加する肺がん対策として、肺がんの早期発見による区民の健康の保持を目的とし、40歳以上の区民を対象に、区医師会に委託し、毎年実施している。

〔開始年度〕昭和55年度

〔対象〕40歳以上の区民

なお、平成12年度から、従来の胸部X線検査に加え全受診者にマルチスライスCT検査を実施している。平成17年度から、喀痰検査は50歳以上の一定条件に該当する方を対象としている。



□受診状況

(単位：人)

区分 年度	受診者数	検 診 結 果				要精密検査者	追 跡 対象者数	がん発 見者数
		異常を 認めず	異常を認 めるが精 査の必要 なし	がんの疑 いのある 者	がん以外 の疾患			
20年度	2,770	553	1,755	115	347	462	161	5
21年度	5,156	781	3,467	274	634	908	338	5
22年度	6,522	888	4,596	376	662	1,038	457	7
23年度	6,041	570	4,617	299	554	853	354	10
24年度	6,286	482	5,066	317	421	738	-	-
40～49歳	1,304	255	983	48	18	66	-	-
50～59歳	1,123	118	917	49	39	88	-	-
60～69歳	2,031	83	1,697	109	142	251	-	-
70歳以上	1,828	26	1,469	111	222	333	-	-

〔注1〕 追跡対象者数・がん発見者数は、翌年度下半期に数値が確定するため、平成24年度は掲載されていない。

〔注2〕 24年度から、検診結果はCT、X線、喀痰検査の総合判定。

(4) 乳がん検診

乳がんは年々増加の傾向にあるが、早期に発見し、早期治療を行えば完治も可能である。昭和62年度から区医師会に委託し、区内医療機関と豊島健康診査センターにて実施している。

平成17年度からは、厚生労働省の指針を受け、実施年度中に偶数年齢を迎える者を対象にしている。

平成21年度からは、無料クーポン券を国の指定する年齢の者に送付した。平成23年度から検診実施期間を延長し、検診対象者に「検診チケット」を送付した（無料クーポン対象はクーポン優先）。

〔開始年度〕昭和62年度

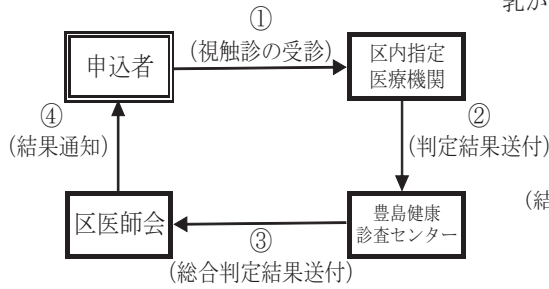
〔対象〕 区対象：検診チケット(年度末現在、40歳以上で偶数年齢の女性)

国対象：無料クーポン(4月1日現在、40、45、50、55、60歳の女性)

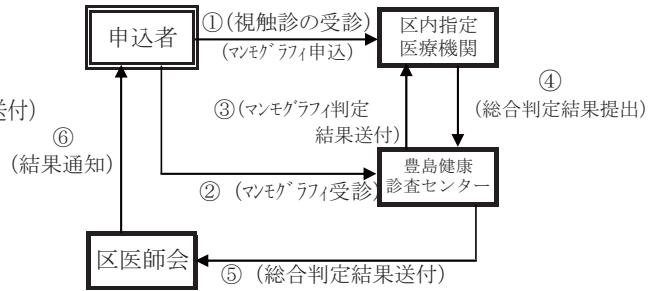
〔実施時期〕5～1月

なお、乳房X線撮影（マンモグラフィ）検査は、平成12年度から平成15年度は40歳以上70歳以下の希望者に実施し、平成16年度からは40歳以上の希望者に実施。撮影内容を平成19年度からは、40歳以上50歳未満は2方向撮影に変更した。

乳がん検診（視触診のみ）



乳がん検診（視触診とマンモグラフィ受診）



□ 受診状況

(単位：人)

区分 年度	受診者数		検診結果						がん以外の所見 (※)	追跡 対象者 数	がん発 見者数			
	合計	マンモグラフィ 受診者数	異常を 認めず	要経過 観察	要精密 検査	要経過 観察	要精密 検査							
20年度	2,684	2,197	2,372	51	261	28	261	6						
21年度	5,082	3,263	4,271	2,692	4,469	2,883	111	70	502	310	50	24	502	19
		1,819		1,579		1,586		41		192				
22年度	5,562	3,526	4,815	2,955	5,063	3,240	99	64	400	222	35	29	400	16
		2,036		1,860		1,823		35		178				
23年度	7,036	5,380	6,247	4,743	6,510	4,992	526	388	526	138	526	23		
		1,656		1,504		1,518								
24年度	7,105	5,136	6,467	4,676	6,522	4,727	583	409	-	174	-	-		
		1,969		1,791		1,795								
40～49歳	2,945	2,068	2,649	1,871	2,660	1,868	285	200	-	85	-	-		
		877		778		792								
50～59歳	1,835	910	1,701	842	1,701	854	134	56	-	78	-	-		
		925		859		847								
60～69歳	1,412	1,245	1,311	1,157	1,316	1,160	96	85	-	11	-	-		
		167		154		156								
70歳以上	913	913	806	806	845	845	68	68	-	-	-	-		

(注1) 追跡対象者数・がん発見者数は、翌年度下半期に数値が確定するため、平成24年度は掲載されていない。

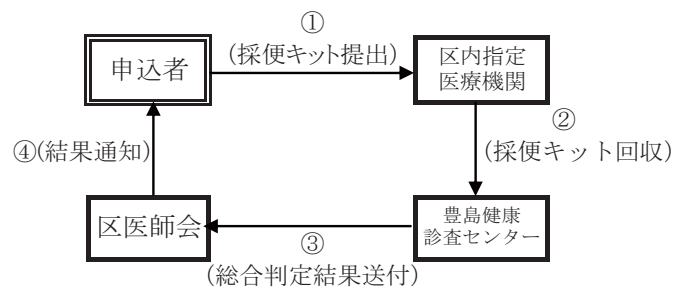
(注2) 21年度以降の受診者数は、(左段) 合計受診者数、(右段・上) 区検診・(右段・下) 無料クーポン検診受診者数。

(※) がん以外の所見は、要経過観察・要精密検査の内、がん以外の者を再掲。23年度から、検診結果をがんに特化し、がん以外の所見は未記入とした。

(5) 大腸がん検診

食生活の欧米化等により、増加傾向にある大腸がんの早期発見、早期治療を図るため、免疫学的便潜血反応検査法（RPHAによる2日法）による検診を区医師会に委託し、実施している。

平成23年度からは、無料クーポン券を国の指定する年齢の者に送付している。平成24年度からは、区検診対象者に「検診チケット」を送付した（無料クーポン対象はクーポン優先）。



〔開始年度〕 平成2年度

〔対 象〕 区対象：30歳以上の区民

国対象：無料クーポン（4月1日現在40、45、50、55、60歳の区民）

〔実施期間〕 通年

□受診状況

(単位：人)

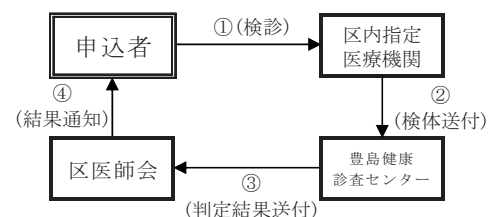
区分 年度	受診者数		検診結果						追跡 対象 者数	がん発見 者数
			異常なし		要精密		検体不良			
20年度	3,714		3,209		505		0		505	4
21年度	6,729		5,912		817		0		817	24
22年度	7,503		6,634		869		0		869	24
23年度	8,092	6,492	7,168	5,735	924	757	0	0	924	23
		1,600		1,433		167		0		
24年度	16,074	14,432	14,228	12,754	1,846	1,678	0	0	-	-
		1,642		1,474		168		0	-	-
30～39歳	353	353	302	302	51	51	0	0	-	-
		/		/		/		/	/	/
40～49歳	3,203	2,493	2,860	2,221	343	272	0	0	-	-
		710		639		71		0	-	-
50～59歳	2,721	2,129	2,463	1,929	258	200	0	0	-	-
		592		534		58		0	-	-
60～69歳	4,414	4,074	3,953	3,652	461	422	0	0	-	-
		340		301		39		0	-	-
70歳以上	5,383	5,383	4,650	4,650	733	733	0	0	-	-
		/		/		/		/	/	/

(注) 23年度以降の受診者数は (左段) 合計受診者数、(右段・上) 区検診・(右段・下) 無料クーポン検診受診者数。

(6) 前立腺がん検診

り患者が年々増加傾向にある前立腺がんの早期発見、早期治療を図るため、P S A検査による検診を区医師会に委託し、実施している。

国民健康保険加入者は、特定健康診査と同時に受診することができる。



〔開始年度〕 平成23年度

〔対 象〕 50～74歳で年度末現在、偶数年齢の区民（男性）

□受診状況（平成23年度～）

区分 年度	受診者数	検 診 結 果		追跡 対象者数	がん 発見者数
		異常なし	要精密		
23年度	3,094	2,867	227	227	38
24年度	3,533	3,274	259	-	-
50～59歳	778	771	7	-	-
60～69歳	1,539	1,421	118	-	-
70～74歳	1,216	1,082	134	-	-